

授業14-1	最終プレゼンテーションの目的を理解する		
ねらい	自らのビジネスアイデアの必要性や動機に気づき、情熱を持ったプレゼンテーションに繋げさせる。	教材	ワークシート1枚

展開時間	指導内容	留意事項	
導入 5分	1 前時の振り返り		
	最終プレゼンテーションの準備ステップを説明する。	・「伝える」から「伝わる」になる、プレゼンテーションを考えさせる。	
展開1 10分	2 [ワーク①]改めて「自分が考案している事業に取り組む理由や価値」を明確化しよう。		
	(1)検討している事業名を記入し、(2)思いついた動機やきっかけを記入させる。 (3)事業に取り組むことで、世の中の人にどのようなメリットや満足をもたらせるかを記入させる。 (個人10分)	・自らの体験や経験を基に、説得力のあるプレゼンテーションを目指すように伝える。	
展開2 15分	3 [ワーク②]ワーク①で考えたことを情熱を持って3分で発表してみよう。		
	ワーク①に取り組んだことを、グループで発表させる。お互いに発表を記録させる。 (グループ発表及び共有15分)	・ビジネスアイデアの実現に対する思いを、しっかりと伝えるように声掛けする。	
展開3 15分	4 [ワーク③]ワーク②の発表のフィードバックをしよう。		
	(1)どのように情熱を伝えたか(2)お互いに知りたいことは何かを記入させる。 (個人10分)(グループ共有3分)(クラス共有2分)	・自分と相手の「伝わる」がどれほどだったかを共有させる。 ・相互評価させる。	
まとめ 5分	5 [ワーク④]本時の振り返り		
	・本時の気づきを記入させる。 (個人5分)	・自分のビジネスアイデアを再確認させ、正しく「伝わる」ができたか振り返らせる。	